



Santa Fe, U.S.A. サンタフェ(アメリカ)



Hangzhou, China 杭州(中国)



Icheon, Korea 利川(韓国)



Kanazawa, Japan 金沢(日本)

平成26年度文化庁地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業
愛・地球博開幕10周年記念/陶祖800年祭フィナーレ事業
瀬戸市美術館特別展
「華麗なりモージュ磁器の世界
—アドリアン・デュブーシェ国立美術館収蔵品によるリモージュ磁器250年の歩み—」
関連事業

国際工芸都市 シンポジウム in SETO

開催日 平成27年3月7日(土)・8日(日)

会場 瀬戸市文化センター文化交流館31会議室
愛知県瀬戸市西茨町113-3

定員 各日100名 **申込不要・参加費無料・先着順**

※定員を超えた場合は入場をお断りすることもあります。

愛知県瀬戸市は、約1,000年前から現在まで、連続とやきものづくりを行ってきている工芸都市です。瀬戸市をはじめ多くの工芸都市を取り巻く環境が厳しさを増す中、世界の工芸都市は効果的な対策を模索しています。日本では文化庁が文化芸術のもつ創造性を地域振興、観光・産業振興等に領域横断的に活用し、地域課題の解決に取り組む先駆的かつ多様な取り組みを支援しています。国際的にはユネスコが、創造的・文化的な産業の育成、強化によって都市の活性化を目指す世界の各都市に対し、国際的な連携・相互交流を支援しています。

世界の中で、これらを活用し、積極的な取り組みをしている都市の美術館・博物館等関係の方々に基づ調講演、事例発表、パネルディスカッションをしていただき、今後の工芸都市のあり方について考えます。

プログラム

3月7日(土) 13時30分～15時

第1日目 基調講演

「美術館における文化連携の創造—サンタフェ市の事例」

13:00 受付開始

13:30 開会/主催者あいさつ

13:45 基調講演

「美術館における文化連携の創造—サンタフェ市の事例」

講師: メアリー・カーショー氏(ニューメキシコ美術館館長)

15:00 終了予定

3月8日(日) 13時～16時

第2日目 事例発表・パネルディスカッション

「工芸都市における美術館・博物館の役割」

12:30 受付開始

13:00 開会/主催者あいさつ

13:10 各都市事例発表

◎杭州(中国): 鄧 禾穎氏(杭州南宋官窯博物館館長)

◎利川(韓国): 李 泰鎬氏(利川市立博物館学芸研究士)

◎金沢(日本): 山崎 達文氏

(金沢学院大学美術文化学部美術学科教授)

14:50 休憩

15:00 基調講演者及び各都市事例発表者によるパネルディスカッション

司会: 服部 文孝(瀬戸市美術館館長)

16:00 終了予定

関連事業

ワークショップ「リモージュの技」

リモージュの陶芸作家に、制作のデモンストレーションをしていただきます。

講師: マチュール・ピュスロ氏(エスプリ・ホルスレーヌ会員)

日時: 3月8日(日) 10時～11時30分

場所: 瀬戸市文化センター文化交流館22会議室

定員: 80名(定員を超えた場合は入場をお断りすることもあります。)

※申込不要・参加費無料

問い合わせ先

瀬戸市美術館

〒489-0884 愛知県瀬戸市西茨町113-3

(瀬戸市文化センター内)

TEL/0561-84-1093 FAX/0561-85-0415

http://www.seto-cul.jp/

主催

瀬戸市・リモージュ市国際交流推進実行委員会

陶祖800年祭実行委員会

公益財団法人瀬戸市文化振興財団

瀬戸市美術館



国際工芸都市シンポジウム in SETO

会場：瀬戸市文化センター文化交流館 31会議室
愛知県瀬戸市西茨町113-3

◆ 基調講演「美術館における文化連携の創造—サンタフェ市の事例」◆

講師：マアリー・カーショー氏《ニューメキシコ美術館館長》

開催日時：平成27年3月7日(土) 13時30分～15時

◆ 事例発表・パネルディスカッション「工芸都市における美術館・博物館の役割」◆

開催日時：平成27年3月8日(日) 13時～16時

<パネリスト>

マアリー・カーショー氏 MARY KERSHAW 《ニューメキシコ美術館館長》

2010年1月にニューメキシコ州サンタフェにあるニューメキシコ美術館に館長として就任。ハロゲートプラウカウンシルの美術館及び芸術部門の長として、その後、ヨーク美術財団の収蔵長として、英国で25年以上博物館での経験を持つ。博物館協会(英国)とヨークシャー博物館、蔵書及び公文書協議会の理事として、また、英国国立博物館の認定委員会、蔵書及び公文書協議会(MLA)の理事を務めた。2009年にFMA(博物館協会の特別評議員)に認められ、最近ではクレアモントクラジュエイトユニバーシティ校でのゲティリーダーシップ学会による経営教育プログラムを終了した。

<サンタフェ>

サンタフェは、多くのアーティスト、アート鑑賞する人々を惹きつける街として評判で、多くのアーティストが住み、工芸、視覚芸術、舞台芸術、デザイン等の分野で創作を行っている。2005年に「クラフト&フォークアート」分野でユネスコ クリエイティブシティーズネットワーク登録。



鄧禾穎氏 DENG HEYING 《杭州南宋官窯博物館館長》

杭州大学歴史学科卒業、長期にわたり古陶磁文化研究宣伝活動に従事する。現在杭州南宋官窯博物館館長、研究員、杭州市社会科学院南宋史研究センター研究員を兼務。

<杭州>

杭州は、中国七大古都の一つで、かつて官窯が置かれていた。現在、浙江省の省都で、省の政治経済、文化の中心地。2012年に「クラフト&フォークアート」分野でユネスコ クリエイティブシティーズネットワーク登録。



李泰鎬氏 LEE TAEHO 《利川市立博物館学芸研究士》

国立安東大学大学院卒業、韓国学大学院博士課程修了(民俗学専攻)。利川市立博物館学芸研究士。

<利川>

利川は、良質の陶土を産出し、大変古くから陶芸の街として発展してきた。現在は多くの陶芸家が集まり、朝鮮陶磁器の伝統を継承し、陶芸の伝統を引き継ぐ街になっている。2010年に「クラフト&フォークアート」分野でユネスコ クリエイティブシティーズネットワーク登録。



山崎達文氏 YAMAZAKI TATSUFUMI 《金沢学院大学美術文化学部美術学科教授》

横浜国立大学卒業、金沢美術工芸大学大学院修了(漆芸専攻)。都立学校教諭、出版社、博物館学芸員、金沢卯辰山工芸工房研修課長、金沢美術工芸大学美術工芸研究所勤務。2000年 金沢学院大学着任。公職として、石川県文化財保護審議会委員、石川県立美術館運営委員、石川県輪島漆芸美術館企画委員、金沢市文化財保護審議会委員ほか。

<金沢>

金沢は、歴史的なまちなみの景観の中に、数多くの職人工房が集積し、伝統的な生活様式の中で、今なお工芸品が日常生活の中で愛用されている。2009年に「クラフト&フォークアート」分野でユネスコ クリエイティブシティーズネットワーク登録。



交通アクセス

- JR 名古屋駅から(所要時間約1時間)
地下鉄東山線で「栄」へ。名鉄瀬戸駅に乗り換え「栄」から「尾張瀬戸」下車、徒歩13分。
- 名古屋 I.C. / 長久手 I.C. (所要時間30分)
東名高速「名古屋 I.C.」「長久手 I.C.」を降りて瀬戸方向へ。グリーンロード「愛・地球博記念公園」。または「八草 I.C.」まで行き、左折(北)し、瀬戸市街地へ。
- 瀬戸赤津 I.C. から(所要時間約10分)
東海環状自動車道「瀬戸赤津 I.C.」を降りて瀬戸方面へ。

瀬戸市美術館 Seto City Art Museum

〒489-0884 愛知県瀬戸市西茨町113-3
TEL 0561-84-1093 FAX 0561-85-0415
E-mail art@city.seto.lg.jp URL http://www.seto-cul.jp/